

第31回

'20選抜女子駅伝
北九州大会

- 期 日 / 2020年1月19日 (日)
 - コース / 小倉北区・小倉城歴史の道—
八幡東区・桃園折り返し 27.4km
- 一般の部 5 区間 高校の部 6 区間



一般の部で初優勝のフィニッシュテープを切るデンソウの松本亜子

一般の部

デンソーが初優勝 若い力を結集

若手の力を結集したデンソー（三重）が初めて頂点に立った。
2区で先頭に立ったゼイトナ・フーサンからタスキを受けた20歳の矢田みくにが区間賞の好走、9秒しかなかった2位との差を37秒に広げ、残り2区間を22歳の倉岡奈々、20歳の松本亜子が余裕を持って逃げ切った。
2位は天満屋（岡山）。翌週の大阪国際女子マラソンで東京五輪代表権を狙うアンカーの小原怜が貫禄の区間賞で、順位を押し上げた。3位は九電工（福岡）。新人の宮田梨奈が1区で区間賞に輝き、レース流れを作った。

松元利弘・デンソー監督「伸びしろのあるチーム。みんな自信がついたと思う」
矢田みくに・デンソー3区「クイーンズ駅伝のメンバーから外れ、とても悔しく、見返してやろうという気持ちで練習してきた」
小原怜・天満屋5区「マラソンに向けて勝負強さや集中力を引き出そうと走った」

高校の部

神村学園が独走で2連覇

全国高校駅伝2位の神村学園（鹿児島）が選手層の厚さを見せつけ、2年連続3回目の優勝を果たした。
エースのバイレ・シンシアをメンバーから外した神村学園。3区までは全国3位の筑紫女学園（福岡）と激しいトップ争いとなったが、4区の木之下沙椰からは3連続区間賞、2位の筑紫女学園に1分以上の大差をつけてフィニッシュした。
筑紫女学園は1区の池田朱里が区間賞、前半は好レースを演じたが、4区以降に粘れなかった。3位には大阪薫英女学院が入った。

有川哲蔵・神村学園監督「今まではどこか（留学生のバレイに）頼っていた」
木之下沙椰・神村学園4区「日本選手だけで勝ると証明できた」
池田朱里・筑紫女学園1区「トップレベルで勝てるチームになりたい」



高校の部で2年連続3回目の優勝を飾った神村学園のアンカー・黒川円佳